

事務事業名	峡北支所管内愛育連合会参画事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5314										
			所属課室	健康増進課		課長名	桜田正文										
			所属担当	保健相談担当		担当者名	野中優子										
基本政策	基本計画	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
		18	健康づくりの推進		01	一般	0	4	0	1	0	1	0	2	0	1	5
政策				事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
施策	体系	31	保健・医療の推進														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 16 年度)			法令根拠													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 中北保健所峡北支所管内の愛育連合会への負担金として法令外により支出している。 1、韮崎市・南アルプス市・北杜市の3市の連合会でそれぞれ情報交換や合同研修会・活動発表会を開催している。			事業費の主な内訳 (22年度)													
				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
				法令外負担金 37													
				計 37													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	総会・理事会・理事研修会・班長研修会・愛育活動発表会・情報誌発行
23年度活動予定	総会・理事会・理事研修会・班長研修会・愛育活動発表会・情報誌発行
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
中北保健所峡北支所管内愛育連会の構成メンバー	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
中北保健所峡北支所管内愛育会の役員が母子保健に関わる問題等を共有し連携を図ること、互いの連携と資質の向上が図れるようになる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域格差がなくなり、母子への支援活動が自主的に、また組織的に取り組みが容易にできる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 総会・理事会等の会議	回
イ 活動発表会・理事研修会	回
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 総会・理事会等へ出席人数	人
イ 活動発表会への出席人数	人
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 管内の班長研修会参加人数	人
イ 活動発表会への出席人数	人
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア	
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	40	37	36	36	36	36	
	事業費計 (A)			千円	40	37	36	36	36	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	
		人件費計 (B)	千円	45	45	40	40	40	40	0
	(A)+(B)			千円	85	82	76	76	76	0
活動指標	ア	回		18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	イ	回		2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
対象指標	ア	人		181.0	77.0	77.0	77.0			
	イ	人		146.0	155.0	155.0	155.0			
成果指標	ア	人			100.0	80.0	80.0			
	イ	人			52.0	52.0	52.0			
上位成果指標		ア								
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	小笠原保健所が韮崎保健所と統合されて、中北保健所峡北支所なり、平成18年4月28日より連合会となった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	北杜市の須玉地区に愛育班が誕生する。南アルプス市愛育会が先進的に行なっているので、管内のレベルは上がると思う。管内の中での本会の役割は重大である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	南アルプス市が先進地なので、他市の人たちがとても参考になるとの声が聞かれる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	各市の育成者の連合会への支援について検討をする。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	H21年度から各市の担当保健師が理事会へ参加しないことで、役員の自主性が養われた。

事務事業名	峡北支所管内愛育連合会参画事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 広域的な視野で本市の活動状況を確認でき、活動に生かすことが出来るので結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市からの負担金ではなく、組織からの負担金で賄える事業の発想をすることが可能か。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 3市の連合会なので、対象・意図は妥当である。市愛育連合会と県愛育連合会があるので、位置づけを考えてほしいと思う。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 会議の回数や内容、連合会で行う方が効果がある事業を検討する必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 他市の活動状況が把握しにくくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 管内連合会の支援については、保健所がおこなっているの、判断ができない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 管内連合会として役割を明確化し、必要性を検討してはどうか。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 南アルプス市の事務局としては最小減での支援なので、これ以上は削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 広域的な事業展開である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	単組の組織として地域住民の活動に支援することは必要である。また、広域的(保健所ごと)活動を支援することも必要であるが市町村負担でわなく県負担で事業を推進していただきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①各市町村の予算が厳しいなか、負担金の整理見直しが必要。 ②県が研修会、学習会等を実施すれば良い。 ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①効率的な運営、活動を行うこと。 ②基本的に各市町の負担金は廃止。		成果優先度評価結果	対象外																					
		コスト削減優先度評価結果	対象外																					